

第7章 石岡市の文化財の防災・防犯

近年、気候変動等の影響を受け、大型台風や線状降水帯による豪雨等が起きています。また、周期的に大きな地震が発生することから、大規模自然災害にも対応できるよう、平時から備えておくことが求められます。

「石岡市地域防災計画」では、教育委員会が防災計画の策定と推進、市指定・登録建造物への自動火災報知設備設置の指導、文化財所有者・管理者に災害時における文化財避難の指導・助言を行うこととしています。また、被害が比較的小さい文化財建造物の所有者・管理者に対しては、関係者と連絡をとり応急修理を施すこと等の措置を講じることとし、被害が大きい場合は、損壊の拡大を防ぐために、覆屋等を設けて復旧計画を待つとしています。避難が必要な美術工芸品の所有者には、教育委員会に連絡し、管理体制が整った公共施設に一次的に保管させることとしています。

毎年1月26日の文化財防火デーでは、文化財防災についての関心を高めるため、防災訓練が実施されていて、市内の寺院等で消火活動や文化財の搬出の訓練等が行われています。茨城県沖及び茨城県南部における直下型地震や首都直下地震の発生も懸念されることから、自然災害への備えが課題となっています。

第1節 石岡市の文化財の防災・防犯に関する現状と課題

本市の文化財の防災・防犯体制について、災害リスクごとの現状と課題は以下のとおりとなっています。

(1) 地震

本市では、大規模な直下型地震の発生は記録されておらず、活断層も確認されていません。しかし、過去には地震の影響で鉄道が不通になる等の被害が発生しています。平成23(2011)年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震では、本市は震度6弱を観測し、住宅では全壊・半壊を合わせて201棟、一部損壊が4,023棟、非住宅506棟の家屋が被害を受けま



府中菅被害状況

した。この地震によって登録文化財を含む歴史的建造物も被害を受け、府中菅主屋や丁子屋店舗兼住宅は瓦屋根が落下する等の被害が発生しました。

今後、発生が懸念される地震としては、茨城県沖及び茨城県南部における直下型地震、首都直下地震や南海トラフ地震等が挙げられます。茨城県が発表した「茨城県地震被害調査報告書」(平成30(2018)年12月)によると、本市は、「茨城県南部の地震」が発生し

た場合において最も被害が大きくなると予測されています。建物被害では、全壊・焼失が442棟発生し、登録文化財を含む歴史的建造物が多く集中する市街地で多くの被害が出ると想定されています。また、恋瀬川とその支川である山王川、園部川流域は地盤が緩みやすく、液状化する可能性が高い地形とされています。

発災時は、激しい揺れによる倒壊・破損のほかに、火災や山崩れ等の二次被害に巻き込まれる危険性があります。市街地にある文化財は、商店や住宅等の建物に取り巻かれていることから延焼等の危険性があり、山間部に所在する文化財は土砂災害に巻き込まれる恐れがあります。火災が発生した場合、道路閉塞等によって緊急車両が通行できず、消火活動が困難になる可能性もあります。



福島屋砂糖店店舗兼住宅被害状況



十七屋履物店店舗兼住宅被害状況

表 46 石岡市の地震災害の履歴（「石岡市国土強靱化計画」 p.6 を基に作成）

発生年月日	震度	被害の概要
明治 28 (1895) 年 1 月 18 日	5	霞ヶ浦の地震 茨城県の鹿島・新治・那珂・行方各郡・水戸の広い範囲で被害が発生
昭和 5 (1930) 年 6 月 1 日	5	土蔵に亀裂
平成 2 (1990) 年 2 月 12 日	4	鹿島鉄道不通
平成 23 (2011) 年 3 月 11 日	6 弱	東北地方太平洋沖地震 (人的被害) 重症 1 名、中等傷以下 15 名 (住家被害) 全壊 22 棟、大規模半壊 30 棟、半壊 149 棟、 一部損壊 4,023 棟 (非住宅被害) 506 棟

表 47 本市に被害をもたらす可能性のある地震（平成 30（2018）年「茨城県地震被害想定調査」を基に作成）

想定地震	地震規模	震度
①茨城県南部の地震	Mw7.3	6強
②茨城・埼玉県境の地震	Mw7.3	6弱
③ F 1 断層、北方陸域の断層、塩ノ平地震断層の連動による地震	Mw7.1	5弱
④棚倉破砕帯東縁断層、同西縁断層の連動による地震	Mw7.0	5弱
⑤太平洋プレート内の地震（北部）	Mw7.5	6弱
⑥太平洋プレート内の地震（南部）	Mw7.5	6弱
⑦茨城県沖から房総半島沖にかけての地震	Mw8.4	6弱

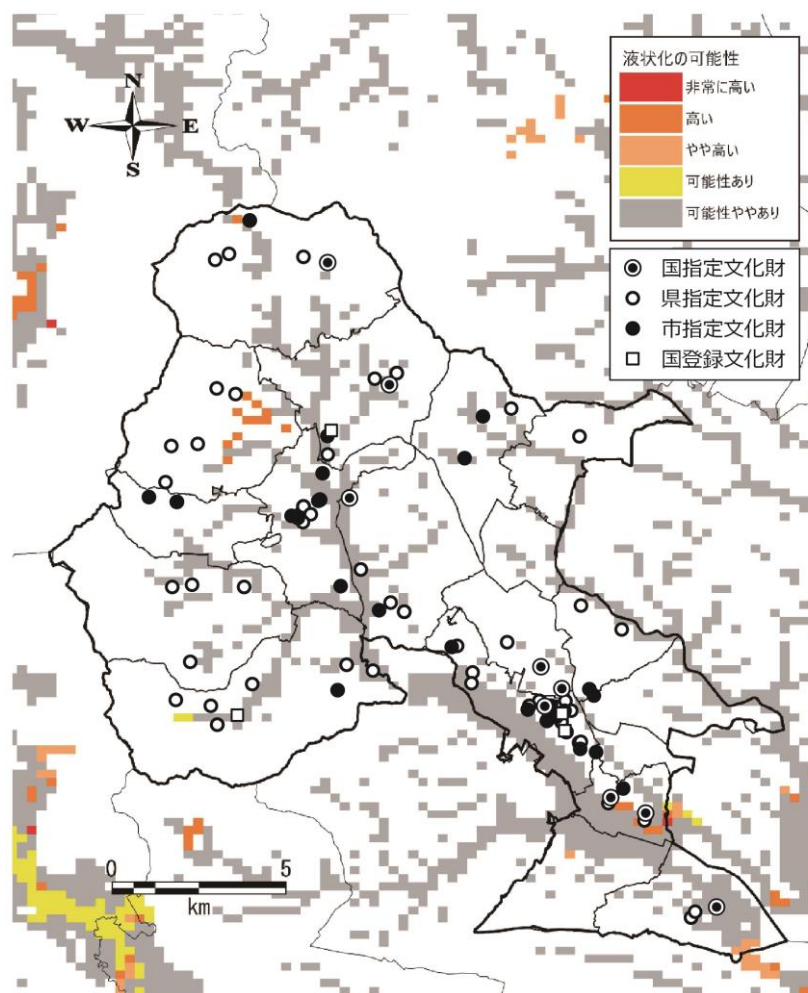


図 43 茨城県南部の地震で想定される液状化危険度分布図と指定等文化財位置図（「石岡市地域防災計画」 p.41 を基に作成）

【地震の課題】

- ・地盤が緩みやすい河川沿いは液状化のリスクが高いですが、一部の文化財はこの範囲にも所在しています。
- ・地震がもたらす二次被害に巻き込まれる恐れがあります。
- ・歴史的建造物が多く所在する市街地で多くの被害が予測されます。
- ・延焼対策・耐震補強が必要です。
- ・土砂災害によって孤立した文化財の火災対策が必要です。

(2) 風水害(台風、洪水、土砂災害)

本市の大部分は、水害を受ける可能性が低い山地、山麓堆積地、台地・段丘に分類されますが、霞ヶ浦と恋瀬川は浸水被害も想定されており、この周辺に位置する文化財は被害を受ける可能性があります。

筑波山系に囲まれた八郷地域は、谷が山地に入り組んでいるため、広範囲にわたって土砂災害が発生することが想定され、土砂災害警戒区域・特別警戒区域に指定されています。

表 48 過去に発生した主な風水害(「石岡市地域防災計画」p.32を基に作成)

発生日	気象状況	被害の概要
昭和 13 (1938) 年 6 月 30 日	梅雨前線・台風	土石流が発生、死者・行方不明者数 2 名、家屋全壊 3 棟
昭和 38 (1963) 年 6 月 28 日	梅雨	土石流が発生
昭和 54 (1979) 年 10 月 18~19 日	台風第 20 号	家屋半壊 7 棟、一部損壊 1 棟、床上浸水 1 棟、床下浸水 9 棟
昭和 56 (1981) 年 10 月 22 日	台風第 24 号	水害と土石流が発生
昭和 61 (1986) 年 8 月 4~5 日	台風第 10 号	床上浸水 44 棟、床下浸水 24 棟
平成 22 (2010) 年 7 月 25 日	集中豪雨	床上浸水 13 棟、床下浸水 34 棟
平成 23 (2011) 年 8 月 11 日	集中豪雨	床上浸水 1 棟、床下浸水 6 棟
平成 23 (2011) 年 9 月 21 日	台風第 15 号	床下浸水 1 棟
平成 24 (2012) 年 5 月 6 日	降雹	家屋一部損壊 3 棟
平成 24 (2012) 年 6 月 19 日	暴風	停電約 1,400 軒発生(小幡、吉生、国府、府中)
平成 26 (2014) 年 2 月 9 日	大雪	家屋一部損壊 6 棟
平成 26 (2014) 年 2 月 15 日	大雨	床下浸水 2 棟
平成 26 (2014) 年 10 月 5 日	台風第 18 号	負傷者軽傷 1 名、床上浸水 4 棟、床下浸水 28 棟、がけ崩れが発生

平成 27 (2015) 年 9 月 10 日	台風第 18 号	床下浸水 5 棟、がけ崩れが発生
平成 28 (2016) 年 8 月 16~17 日	台風第 7 号	床上浸水 5 棟、床下浸水 7 棟、がけ崩れが発生
令和元 (2019) 年 9 月 8~9 日	台風第 15 号	停電約 4,300 軒発生
令和元 (2019) 年 10 月 12~13 日	台風第 19 号	停電約 2,450 軒発生 災害救助法適用
令和元 (2019) 年 10 月 25 日	大雨	床下浸水 4 棟

【風水害（台風、洪水、土砂災害）の課題】

- ・霞ヶ浦と恋瀬川の周辺に位置する文化財は、浸水被害を受ける可能性があります。
- ・八郷地域に所在する文化財は、土砂災害に巻き込まれるリスクが高くなっています。

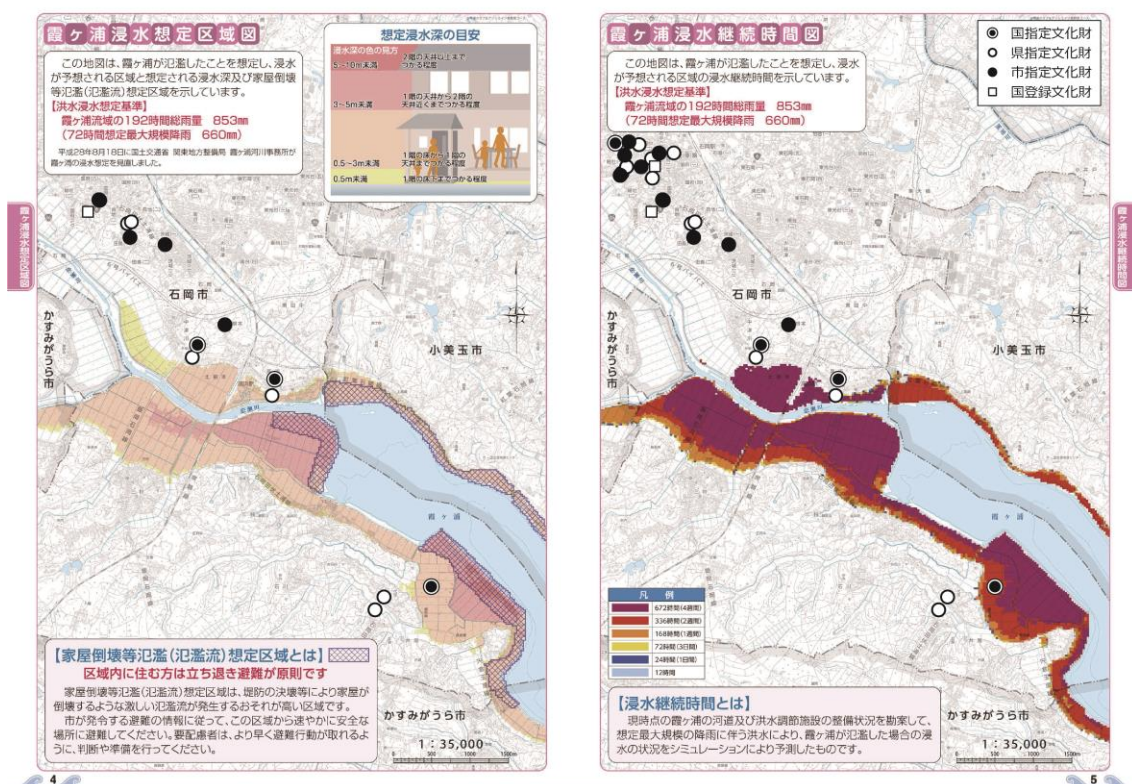


図 44 霞ヶ浦浸水被害想定図と指定等文化財位置図（石岡市洪水ハザードマップを基に作成）

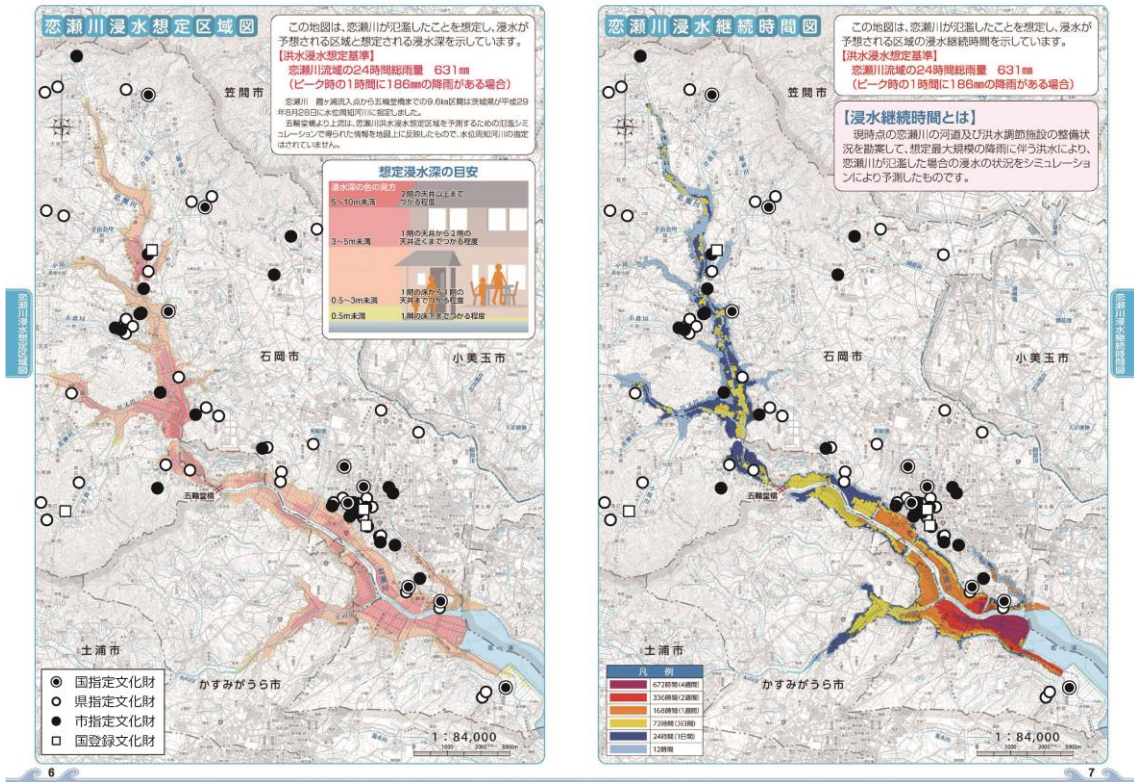


図 45 恋瀬川浸水被害想定図と指定等文化財位置図 (石岡市洪水ハザードマップを基に作成)

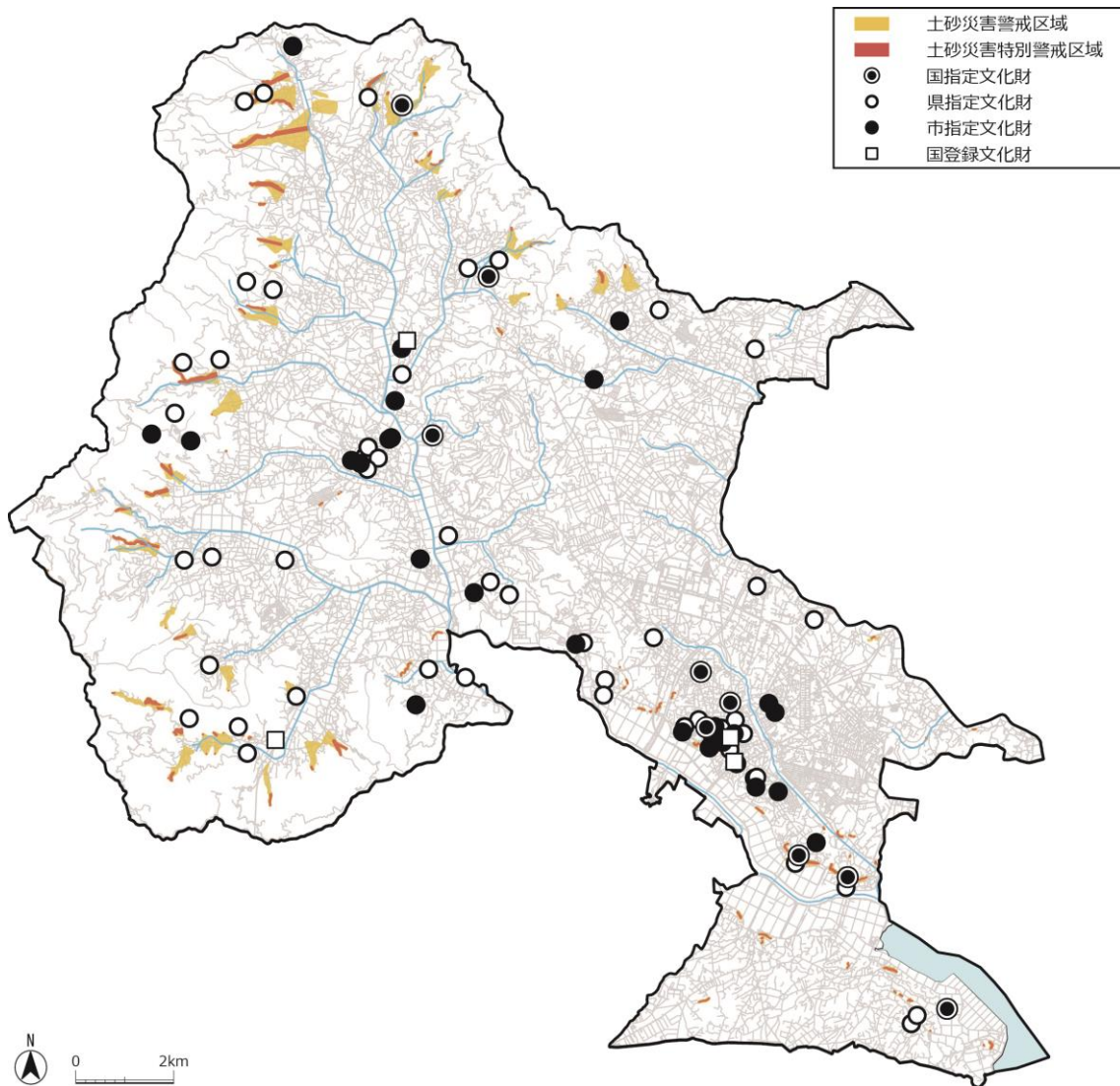


図 46 土砂災害警戒区域・特別警戒区域と指定等文化財位置図

(3) 火災

本市には大規模災害リスクの高い著しく危険な密集市街地はありませんが、強風にあおられて延焼火災が発生する危険性があります。

茨城県及び本市は、震災によって多くの火災被害が生じる恐れのある地域において、防火地域²⁰⁾及び準防火地域²¹⁾の指定を行っています。市街地に位置する文化財の一部がこの地域の指定範囲内にあり、火災被害にあう可能性が高い状況となっています。

このような想定しうる火災への防災意識啓発イベントとして、本市では毎年1月26日の文化財防火デーで、文化財防火運動を展開していて、市内の寺院等で防災訓練を行って

²⁰⁾ 建物の密集度が高い地域や国道、県道等の緊急車両が通る幹線道路沿いなどで、火災被害を広げないための厳しい建築制限がある地域のこと。

²¹⁾ 防火地域をとり囲むように設定される、防火地域よりも緩やかな制限がかかっている地域のこと。

ます。

また、指定文化財建造物の所有者に対しては、自動火災報知設備の設置を促すとともに、設置費用及び点検費用の一部を補助しています。

表 49 本市で過去に発生した火災被害（「石岡市地域防災計画」p.33 を基に作成）

発生年月日	火災状況	被害の概要
大正 8（1919）年 2 月	片野の大火	罹災戸数 8 戸
大正 9（1920）年 3 月 25 日	大増の大火	罹災戸数 65 棟
大正 13（1924）年 5 月 10 日	十三塚の大火	罹災戸数 22 戸
大正 14（1925）年 3 月 9 日	青柳の大火	罹災戸数 6 戸
昭和 2（1927）年 10 月 7 日	若松町から出火	25 戸焼失
昭和 4（1929）年 3 月 14 日	中町から出火	606 戸 1,700 棟焼失
昭和 9（1934）年 4 月 17 日	大増の大火	罹災戸数 87 戸、約 300 棟
昭和 20（1945）年 7 月 29 日	酒精工場倉庫より出火 （戦火）	倉庫 250 坪全焼
昭和 20（1945）年 8 月 13 日	酒精工場タンクより出火 （戦火）	在庫アルコール全焼
昭和 29（1954）年 2 月 1 日	瓦会平沢の大火	罹災戸数 6 戸
昭和 32（1957）年 4 月 4 日	小幡宿の大火	罹災戸数 5 戸
昭和 32（1957）年 6 月 14 日	柿岡宿の大火	罹災戸数 6 戸
昭和 33（1958）年 3 月 25 日	片野の大火	罹災戸数 35 戸、108 棟
昭和 36（1961）年 1 月 26 日	火薬ダイナマイトの倉庫から出火	倉庫内の火薬類焼失
昭和 39（1964）年 8 月 16 日	宮下町常陸総社宮拝殿屋根より出火	拝殿全焼、本殿半焼
昭和 48（1973）年 11 月 27 日	時計組立工場暖房ダクトの過熱により出火	4 戸焼失
昭和 52（1977）年 9 月 8 日	落雷により鉄道タンク車に積み込み中のアルコールが炎上	負傷者 2 名
平成元（1989）年 6 月 1 日	紙管工場火災	1,382 m ² 焼失、1 棟焼損

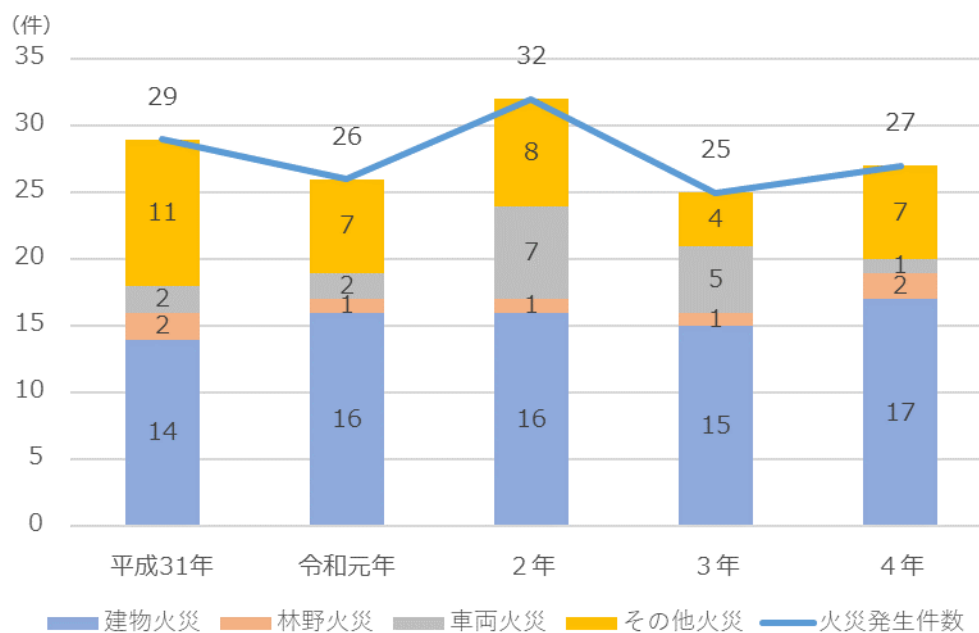


図 47 過去 5 年間における火災発生件数

【火災の課題】

- ・ 建物が密集する市街地にも歴史的建造物があり、延焼に巻き込まれる危険性が高くなっています。
- ・ 防火地域及び準防火地域に位置する文化財があります。

(4) 防犯

近年、文化財の盗難、放火、落書き、破損等の人為的災害が増加しています。平成 27 (2015) 年～平成 29 (2017) 年にかけては、近畿地方を中心とした全国で油のような液体が建造物や仏像にまかれる被害が発生しました。本市においても、平成 26 (2014) 年に市指定有形文化財の彫刻が盗難にあう被害が発生していて、防犯体制の強化等、管理体制の見直しを図る必要があります。常陸国分尼寺跡と舟塚山古墳は週 2 回の見廻り看視を、国・県指定文化財の建造物や史跡、天然記念物は県文化財保護指導員による年 2 回の巡視を行っていますが、その他の文化財の防犯・管理体制は文化財所有者・管理者に依るところがあります。

防犯対策事業の一つとして、本市では防犯灯を設置する自治会に補助金を交付していますが、文化財の盗難等に特化した対応はありません。

【防犯の課題】

- ・ 文化財の多くは所有者・管理者に管理が一任されています。
- ・ 市の防犯対策支援は、防犯灯を設置する自治会への補助金交付のみとなっています。

第2節 石岡市の文化財の防災・防犯に関する方針

文化財の防災・防犯は、行政と文化財所有者・管理者及び市民が一体となって、被害を減少させるための行動に努めることを基本とします。

国宝・重要文化財の美術工芸品、建造物は文化庁のガイドラインが制定されていることから、「国宝・重要文化財（建造物）等の防火対策ガイドライン」、「国宝・重要文化財（美術工芸品）を保管する博物館等の防火対策ガイドライン」をそれぞれ参照して対策を講じることとします。

災害種別ごとの方針は以下のとおりに定めます。

（1）地震の方針

- ・液状化が想定される範囲に位置する文化財を把握します。
- ・上下水道が使用できなくなるケースを想定し、地震発生後に火災が発生した場合でも利用することが可能な水利を確保します。
- ・過去に発生した地震被害と被害への対応方法を市民間で共有します。
- ・市内の関係各課と連携して歴史的建造物が多く所在する市街地の耐震化・不燃化や延焼遮断帯として周辺の空地整備等を行います。また、狭い道路の拡幅整備を推進します。
- ・延焼が想定される範囲の把握、耐震対策の計画を立てます。
- ・行政が救援活動を開始するまでの間に被災文化財の救出活動等を市民が実施する自主防災組織の組織づくりを働きかけ、防災活動の指導を実施します。

（2）風水害（台風、洪水、土砂災害）の方針

- ・水害のリスクが高い場所に位置する文化財は、台風や豪雨時の対応や被災した際の処置を定めておきます。
- ・市内の関係各課と連携して土砂災害による被害を防ぐための施設整備等に取り組みます。

（3）火災の方針

- ・文化財周辺の可燃物管理をします。
- ・消火に必要な水量を得るため、防火水槽や可搬式ポンプ等の複数の取水方法を確保します。
- ・出火を早期に発見し、初期消火ができるよう感知器や自動火災報知設備、ドレンチャー、放水銃等の消火設備の整備を進めます。

(4) 防犯の方針

- ・所有者・管理者のみならず、市民や行政が協働して文化財の防犯に取り組む体制を構築します。
- ・文化財への監視性を高めるライト、カメラ、警告看板等の防御システムの設置やメンテナンス費用の補助を検討します。

第3節 石岡市の文化財の防災・防犯に関する措置

以上の課題と方針を踏まえて、防災・防犯に関するものを以下の表のとおりに定めます。

表 50 防災・防犯にかかる措置

	措置	措置の内容	実施主体			事業期間			財源			
			市民	行政	企業・団体	短期 (3年)	中期 (7年)	後期 (10年)	市費	国・県補助	団体等費	その他
※◎：実施の主体となる ○：協働で取り組む △：状況により協力する												
①地震												
①-1	液状化発生範囲に位置する文化財の特定	液状化の発生が予測される範囲に位置する文化財を特定する。	○	◎	△	○	■	■	■	○		
①-2	地震火災に利用できる水利の確保	地震により上下水道が使用できなくなった場合でも、地震火災に利用することが可能な水利を確保する。	○	◎	△	○		■	■	○		
①-3	過去に発生した災害情報の共有	過去に発生した地震の詳細とその対応策を広く共有することで二次災害の予防や被害抑制に役立てる。	◎	◎	○	○	■	■	■	○		
①-4	市街地の文化財とその周辺地域の防災	歴史的建造物が多く所在する市街地の延焼対策や耐震対策を図る。	○	◎	○	○		■	■	○		
①-5	延焼範囲の把握と耐震対策	木造建造物が密集する延焼の危険性が高い地域の現状を把握し、対策を図る。	○	◎	○	○		■	■	○		
①-6	自主防災組織の結成	自主防災組織の組織づくりを働きかけ、災害時に速やかに対応が行えるように、訓練等を実施する。	◎	◎	○	○	■	■	■	○		
②風水害（台風、洪水、土砂災害）												
②-1	河川沿いに位置する文化財への対応	風水害発生時に被災する可能性がある文化財の特定とその対応策を定める。	○	◎	○	○	■	■	■	○		
②-2	防災設備の整備	河道整備や砂防堰堤等、防災のための施設を整備する。	○	◎	○	○	■	■	■	○		
③火災												
③-1	防火対策の実施	文化財とその周辺の可燃物整理及び管理を行う。	○	◎	○	○	■	■	■	○		
③-2	消火時の必要水量の確保	火災時に迅速に消火するため、必要な水量を確保できる防火水槽や可搬式ポンプ等の施設を整備する。	○	◎	△	○		■	■	○		
③-3	消火設備の充実	出火を早期発見する自動火災報知設備や初期消火に用いる設備の設置を図る。	◎	◎	○	○	■	■	■	○	○	
④防犯												
④-1	文化財の防犯体制の構築	文化財所有者・管理者、市民、行政が協働して防犯に取り組む体制を構築する。	◎	◎	◎	○	■	■	■	○		
④-2	防犯設備の充実	防犯設備設置に係る負担を軽減するため、設置費用の補助を検討する。	○	◎	○	○	■	■	■	○		

第4節 石岡市の文化財の防災・防犯の推進体制と体制整備の方針

本市では、災害・被害発生時には以下の図のとおり救援・支援の活動を行います。災害・被害が発生した場合、発見者や文化財所有者・管理者が市に連絡します。市と県は連携して災害・被害の対応にあたり、地域間だけでは対応できない場合、文化庁等の外部組織に支援を求める必要があります。また、地域の文化財に関する団体、博物館や図書館等の文化施設とも連携を図ります。文化施設は、災害発生時等に文化財をレスキューする拠点となれるよう整備を進めていきます。

文化財の被害に迅速に対応するためには、建造物被害の大きさを速やかに判断するための体制整備、避難が必要な美術工芸品の一次避難場所を事前に選定しておくこと等が求められます。文化財の防災・防犯体制については文化財所有者・管理者だけではなく、周辺住民にも周知しておき、地域一体で対応できる体制を整えておく必要があります。

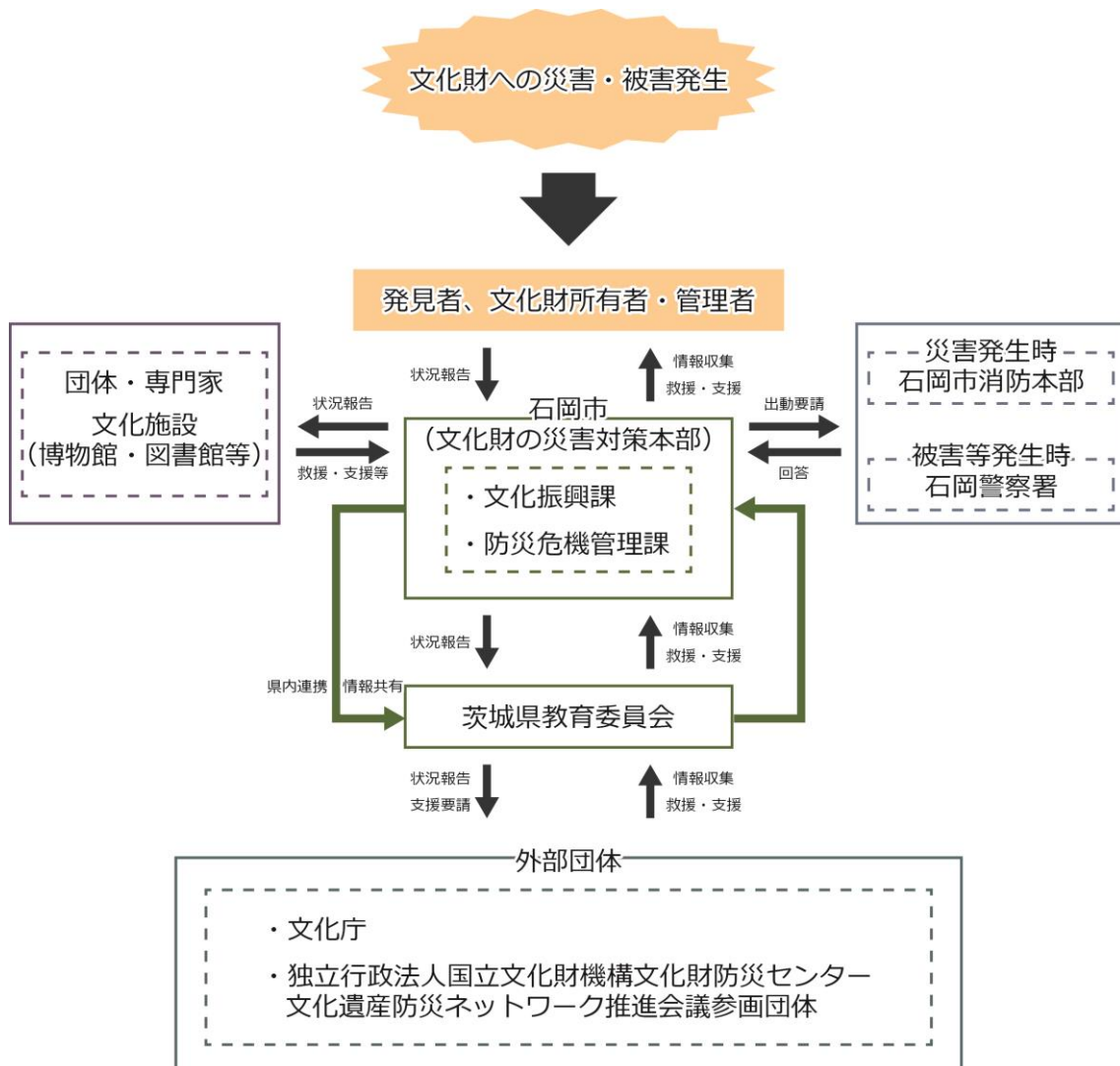


図 48 災害・被害発生時の連携図

第8章 文化財の保存・活用の推進体制

第1節 石岡市の文化財の保存・活用の推進体制と役割

市民と行政が協力・連携することで、本計画は一層推進されていきます。下記の体制と求められる役割のとおり、市民、企業・団体、教育研究機関と文化振興課を中心にした関係各課で文化財の保存・活用に取り組んでいきます。

(1) 市民

文化財の保存・活用を担う人材として、地域住民、地域団体、各地域コミュニティーが活動しています。

市民のうち、文化財所有者・管理者である個人、寺院・神社、自治会、保存団体が文化財の維持・管理を行い、公開に協力しています。

●今後求められる役割

- ・ひとりひとりがアイデアを出し合い、相互に連携しながら行政と協働して文化財の保存・活用に主体的に取り組めます。
- ・地域で行われる祭り等の地域活動に参加し、地域の個性や課題を把握し、その情報を発信します。
- ・周辺市町村の地域コミュニティーとも連携し、同様の歴史文化をもつ文化財ネットワークを構築します。
- ・課題を把握したうえで歴史・文化をいかしたまちづくりを進めるため、地域の情報収集に努めます。
- ・自治会は、文化財の担い手となる多様な人材が各地域のコミュニティーに参加しやすい雰囲気醸成します。
- ・地域団体は、文化財の保存・活用に参加したいと考えている市民へ向けた情報発信や、その機会を提供します。
- ・文化財所有者・管理者は博物館や図書館等の文化施設、行政と連携して文化財の保存・活用を図ります。
- ・文化財所有者・管理者は消防、警察、行政と連携を強化して文化財の防災・防犯に取り組みます。
- ・文化財所有者・管理者は文化財の防災・防犯対策や保存環境の整備を行い、適切に文化財を保存します。

【地域団体】

石岡商工会議所	八郷商工会	石岡市観光協会
石岡囃子連合保存会	やさと茅葺き屋根保存会	やさと巨樹の会
筑波山地域ジオパーク 推進協議会	石岡市歴史 ボランティアの会	八郷すてき旅案内人の会
片野排禍ばやし保存会	八幡町からくり人形保存会	柿岡館獅子保存会
柿岡荒宿ささら保存会	太々神楽保存会	根小屋代々十二神楽保存会
富田町ささら囃子保存会	真家みたまおどり保存会	常陸国総社宮祭礼の 獅子・山車・ささら行事保存会
石岡市文化協会	筑東史談会	石岡史跡研究会
丸山古墳保存会	瓦塚・佐久大杉保存会	北根本文化財保護協力会
佐自塚古墳保存会	菖蒲沢薬師如来像保存会	石岡獅子舞連合会
鳴滝会	ジェオアート研究会	中山のお茶畑再生プロジェクト
八郷えごまの会		等

(2) 行政

文化財の保存・活用に主体的に取り組むのは、文化振興課とします。本市の文化財保護に関する行政は、石岡市文化財保護条例に基づき、石岡市教育委員会が担っています。教育委員会の諮問機関として、石岡市文化財保護審議会を設置し意見聴収しているほか、必要に応じて、県研究機関等と連携して各種調査事業を行っています。

本計画を推進するにあたっては、全庁的に地域計画の理念・原則を共有し、関係各課で事業・計画の調整を行う必要があります。

●今後求められる役割

- ・ 下記の関係各課とも連携しながら本計画に基づいて計画的に事業を推進していき、本市の個性ある歴史・文化をいかしたまちづくりを行っていきます。
- ・ 文化財を保存・活用する主体者である市民の活動支援（協働）と、必要となる制度設計の構築、財源・人材確保をします。
- ・ 警察、消防、文化財所有者・管理者と連携して文化財の防災・防犯に取り組みます。
- ・ 道路や河川の管理者と連携して文化財の保存・活用方法を検討します。
- ・ 高度な専門性を必要とする文化財の保存・活用に関する業務に取り組みます。
- ・ 国・県・周辺市町村との連携体制を強化します。

関係各課

【教育委員会】

・文化振興課

業務内容：芸術文化の振興、文化財の保護・保存

職員：10名（うち埋蔵文化財の専門職4名）

・生涯学習課

業務内容：生涯学習、青少年の健全育成、放課後児童クラブ（学童保育）、
青少年センター等

【総務部】

・防災危機管理課

業務内容：防災行政無線の整備・運営、防災訓練の企画・実施、防災啓発、
災害時のための避難所における備蓄品の管理、危機管理の企画・総合調整等

【生活環境部】

・コミュニティ推進課

業務内容：住民との協働、コミュニティ活動の総合調整及び支援、治安及び防犯活動に
関すること、ボランティア活動の総合調整等

【産業戦略部】

・商工観光課

業務内容：商工業・観光の振興、労働・就職の支援等

・産業プロモーション課

業務内容：企業誘致、観光・農産物・特産物のプロモーション等

【都市建設部】

・都市計画課

業務内容：景観法に関する事、都市計画道路の整備、市営駐車場の管理、都市公園・
緑地の維持管理等

・道路建設課

道路等の整備、維持管理に関する事等

審議会・協議会

【石岡市文化財保存活用地域計画協議会】

業務内容：本計画の作成及び変更に係る協議に関する事、文化庁長官の認定を受けた地域
計画の実施に関する事、その他地域計画に関し必要な事項についての事務

【石岡市文化財保護審議会】

業務内容：文化財の保存及び活用に関する重要事項についての調査審議、
並びに教育委員会への建議等

その他自治体

東京都文京区小石川の播磨坂に府中藩主の松平播磨守の江戸上屋敷があったことから、本市では、平成8（1996）年から文京区と災害協定を締結しています。令和元（2019）年には、蕎麦打ち体験や酒造蔵の見学等ができる本市へのバスツアーが開催され、県を超えた交流が行われています。また、宮城県多賀城市とは平成26（2014）年から、福島県いわき市、ひたちなか市とは平成30（2018）年から、かすみがうら市とは令和元（2019）年から災害協定を締結しており、大規模災害が発生した際に食料や飲料水等の物資供給のほか、応急復旧活動に必要な人的支援等について相互に協力して対策できるよう体制を整えています。

（3） 企業・団体

本市の特産物のうち、特に優れた商品は「石岡セレクト」として認証され、地域経済の活性化と本市の魅力発信に寄与しています。桐や杉等を使用した特産品や伝統工芸品等も作られていて、本市ならではの技術が商品にいかされています。

●今後求められる役割

- ・企業・団体が持つ様々なノウハウを利用して歴史文化をいかしたまちづくりに参加し、地域活動を支援します。
- ・「石岡セレクト」のブランド力によって購買意欲を高め、購入数を増加させることで本市の地域経済の発展を目指します。
- ・伝統工芸品等の本市の歴史や魅力を感じる商品の需要増加によって生産を誘発させるとともに、産業戦略課と連携して後継者育成を支援し、技術継承を目指します。
- ・NPO 団体は行政や地域コミュニティーをつなぎ、文化財を保存・活用するための情報や活動の場を提供します。

【企業・団体】

市内に立地する主な企業・団体

有限会社河津商店	常南グリーンシステム株式会社	合資会社廣瀬商店
株式会社小倉味噌店	石岡鈴木牧場ヨーグルト・チーズ工房	池田屋菓子舗
高安桐工芸	こいせライス 株式会社全米協システム	株式会社サシノベルテ
木内酒造株式会社	株式会社ニックン紫山堂	シャノワール
石岡市産業文化事業団		NPO 法人アグリやさと
株式会社パーク・コーポレーション		
NPO 法人八郷・かや屋根みんなの広場		等

(4) 教育研究機関

本市には、19校の小学校、5校の中学校、4校の高等学校があります。小・中学校では本市への愛着や誇りを醸成するため、歴史文化を学ぶふるさと学習が行われています。

そのほか、柿岡地区には筑波大学の茅葺き研究拠点があり、歴史的景観や里山景観の調査研究を継続して行っています。また、茨城大学や明治大学、早稲田大学、國學院大學等による古墳等の調査研究も行われています。

●今後求められる役割

- ・歴史文化を学ぶ教育プログラムを組み込み、将来の文化財の担い手を育成します。
- ・地域活動と連携することで地域とのつながりをつくります。
- ・大学やその他機関においては、現在地域が抱える課題解決と、歴史文化をいかしたまちの実現に向けたフィールドワークに基づく専門的な知見を提供します。

【小学校】

石岡小学校	府中小学校	高浜小学校	東小学校	三村小学校	関川小学校
北小学校	南小学校	杉並小学校	園部小学校	東成井小学校	瓦会小学校
林小学校	恋瀬小学校	葦穂小学校	吉生小学校	柿岡小学校	小幡小学校
小桜小学校					

【中学校】

石岡中学校	府中中学校	国府中学校	園部中学校	八郷中学校
-------	-------	-------	-------	-------

【高等学校】

石岡商業高等学校	石岡第一高等学校	石岡第二高等学校	青丘学院つくば高等学校
----------	----------	----------	-------------

【大学（市外含む）】

筑波大学	茨城大学	明治大学	早稲田大学等	國學院大學等
------	------	------	--------	--------

【その他機関】

茨城県立歴史館	ミュージアムパーク茨城県自然博物館
茨城県霞ヶ浦環境科学センター	茨城県教育財団等

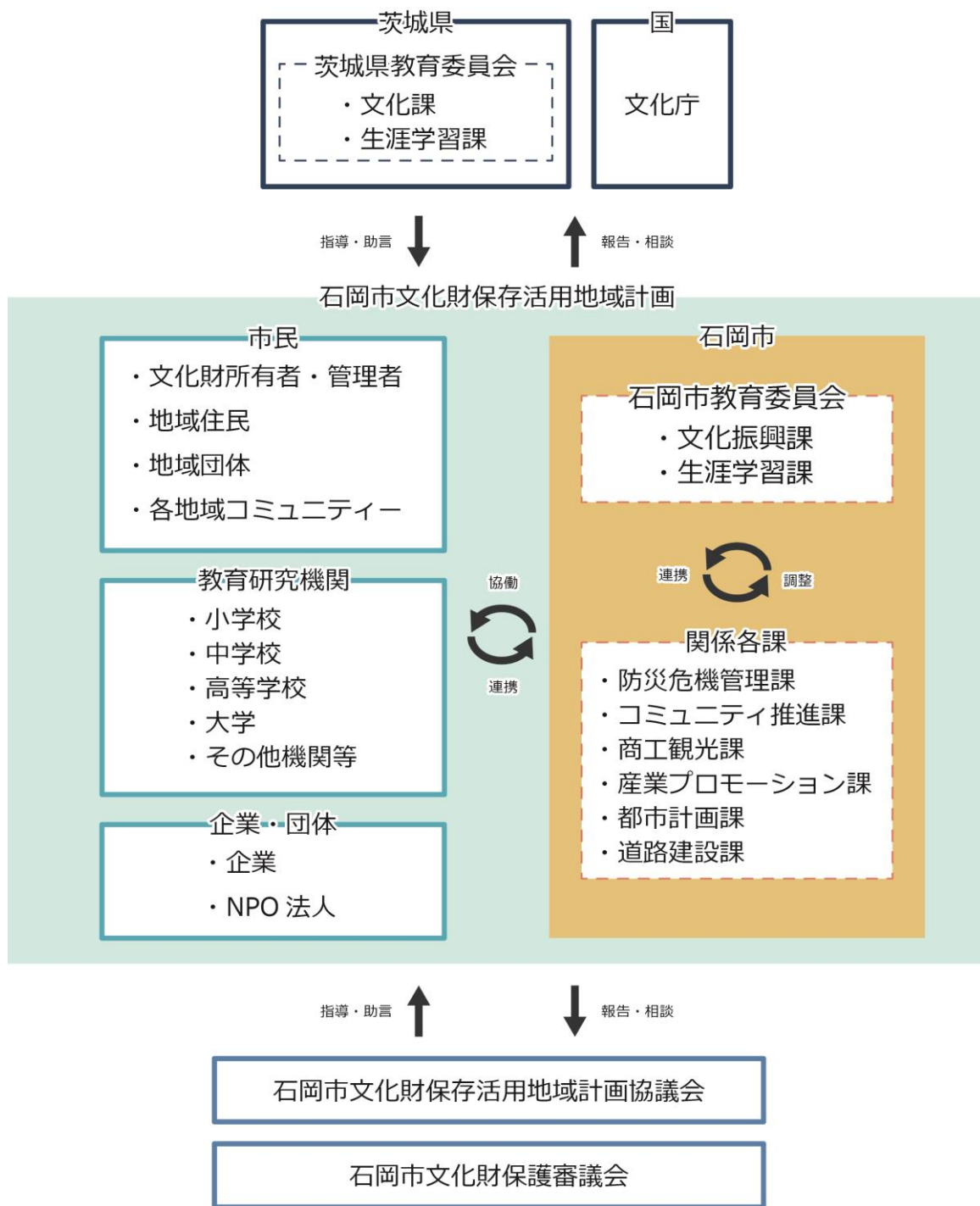


図 49 文化財の保存・活用の体制図

参考文献等

発行	発行年	書籍名等
(旧)石岡市教育委員会	1961	『図説石岡市史』
(旧)八郷町	1970	『八郷町誌』
茨城県教育委員会	1971	『茨城県民俗分布図』
茨城県教育委員会	1976	『茨城県の民家－茨城県民家緊急調査報告書－』
(旧)石岡市	1979	『石岡市史上巻』
茨城県教育委員会	1982	『茨城県の近世社寺建築 －茨城県近世社寺建築緊急調査報告書－』
茨城県教育委員会	1982	『茨城の無形民俗文化財』
茨城県教育委員会	1982	『重要遺跡調査報告書Ⅰ』
(旧)石岡市	1983	『石岡市史中巻Ⅰ』
(旧)石岡市	1983	『石岡市史中巻Ⅱ』
茨城県教育委員会	1983	『茨城の民俗芸能』
(旧)八郷町教育委員会	1983	『八郷町の石造物第一集』
(旧)石岡市	1985	『石岡市史下巻』
茨城県教育委員会	1985	『重要遺跡調査報告書Ⅱ(城館跡)』
(旧)八郷町教育委員会	1985	『八郷町の石造物第二集』
(旧)石岡市教育委員会	1986	『石岡の地誌』
茨城県教育委員会	1986	『重要遺跡調査報告書Ⅲ』
石岡ライオンズクラブ	1987	『石岡の寺とみほとけ』
茨城県教育委員会	1987	『茨城の民謡－民謡緊急調査報告書－』
(旧)八郷町教育委員会	1987	『八郷町の石造物第三集』
石岡青年会議所	1989	『石岡の巨木たち』
茨城県教育委員会	1989	『茨城の諸職－諸職関係民俗文化財調査報告書－』
(旧)石岡市教育委員会	1991	『常陸府中矢口平右衛門家文書目録』
(旧)八郷町教育委員会	1991	『八郷町民俗資料調査』
茨城県神社庁新治支部	1992	『新治地区神社誌』
茨城県立歴史館	1994	『茨城県における古代瓦の研究』
石岡市教育委員会	1994	『歴史の里いしおか ガイドブック』
(旧)八郷町教育委員会	1994	『八郷町遺跡台帳NO.1』
(旧)石岡市教育委員会	1995	『石岡市の遺跡－歴史の里の発掘100年史－』
(旧)石岡市教育委員会	1996	『石岡の石仏』
(旧)石岡市教育委員会	1996	『石岡の地名－ひたちのみやこ1300年の物語－』
茨城県教育委員会	1996	『茨城県の民俗芸能－茨城県民俗芸能緊急調査報告書－』
(旧)八郷町教育委員会	1996	『八郷町遺跡台帳NO.2』
財団法人日本城郭協会	1997	『日本の城郭城址に関する調査報告書Ⅱ』
(旧)八郷町教育委員会	1997	『八郷ことば』
茨城県自然博物館	1998	『茨城県自然博物館第1次総合調査報告書－筑波山・霞ヶ浦 を中心とする県南部地域の自然－』
(旧)八郷町教育委員会	1998	『八郷の住文化』
(旧)八郷町教育委員会	1998	『八郷町遺跡台帳NO.3』
(旧)八郷町教育委員会	1999	『八郷の巨樹』
(旧)八郷町教育委員会	1999	『八郷の住文化2』
(旧)八郷町教育委員会	2000	『八郷の住文化3』

(旧)石岡市教育委員会石岡市遺跡分布調査会	2001	『石岡市遺跡分布調査報告書』
茨城県自然博物館	2001	『茨城県自然博物館第2次総合調査報告書－鶏足山塊・酒沼・県央海岸を中心とする県央地域の自然－』
茨城県立歴史館	2001	『茨城の三十六歌仙絵』
財団法人都市農産漁村交流活性化機構	2002	『茅葺き民家に関する調査研究中間報告書』
平成12年度茨城県郷土民俗芸能の集い実行委員会	2002	『茨城県の郷土民俗芸能』
(旧)八郷町史編さん委員会	2002	『村明細帳八郷町史史料編Ⅰ』
(旧)八郷町史編さん委員会	2003	『町村是(明治末期)農山漁村経済厚生計画書(昭和期)八郷町史史料Ⅱ』
(旧)八郷町教育委員会	2003	『八郷町の地名』
茨城県立歴史館	2004	『茨城の形象埴輪－県内出土形象埴輪の集成と調査研究』
(旧)八郷町史編さん委員会	2004	『太田焼瓦師藤岡一族の瓦製祠八郷町史史料編Ⅳ』
(旧)八郷町史編さん委員会	2004	『近世村落資料八郷町史史料Ⅲ』
(旧)八郷町	2005	『八郷町史』
茨城県教育委員会	2007	『茨城県の近代化遺産－茨城県近代化遺産(建造物等)総合調査報告書－』
明治大学	2008	『常陸の古墳群』
いしおか100物語刊行会	2009	『いしおか100物語』
茨城県教育委員会	2010	『茨城県の祭り・行事－茨城県の祭り・行事調査報告書－』
やさと茅葺き屋根保存会	2010	『筑波山麓の茅葺き民家と茅場の維持保全活用をはかるための普及啓発事業報告書』
茨城県立歴史館	2011	『茨城の狛犬－県内狛犬の集成と調査研究－』
やさと茅葺き屋根保存会	2011	『やさとの茅葺き民家』
茨城県生活環境部環境政策課	2012	『茨城県版レッドデータブック<植物編>2012年改訂版』
茨城県教育委員会	2013	『「水戸道中」－茨城県歴史の道調査事業報告書(近世編Ⅰ)－』
茨城県教育委員会	2014	『「日光道中」、「関宿通多功道」、「結城」、「瀬戸井道」－茨城県歴史の道調査事業報告書(近世編Ⅱ)－』
茨城県教育委員会	2015	『「鎌倉街道と中世の道」－茨城県歴史の道調査事業報告書(中世編)－』
茨城県教育委員会	2015	『「古代東海道と古代の道」－茨城県歴史の道調査事業報告書(古代編)－』
筑波学院大学	2015	『高浜入りの民俗－茨城県石岡市関川・三村・高浜地区－』
石岡市	2015	『東日本大震災石岡市記録集』
茨城県生活環境部環境政策課	2016	『茨城県版レッドデータブック<動物編>2016年改訂版』
茨城県教育委員会	2017	『茨城県近代和風建築総合調査報告書』
国立研究開発法人産業技術総合研究所	2017	GSJ地質ニュース2017 Vol.6 No.7
茨城県石岡市	2019	『筑波山麓 茅葺き民家』
宮下潤也	2019	『看板建築図鑑』
茨城県県民生活環境部自然環境課 茨城県生物多様性センター	2020	『茨城県版レッドデータブック<蘚苔類・藻類・地衣類・菌類編>2020年版』
常陸國總社宮例大祭文化財指定検討協議会	2020	『常陸國總社宮例大祭(石岡のおまつり)の歴史と現況－石岡のおまつり歴史実態調査報告書－』